



1) ~ 5) までの一括質疑応答
 質問者：横浜支部のホームページはどう
 なっているのか？ また、横浜
 支部への新人会員は何名ですか？

回答：新入会員は42名。HPはどなたか
 ボランティアでやって下さる方が
 いらっしゃればお願いをしたい。
 引き続き検討中。
 その他質疑無し。

「活動報告」「収支決算報告・監査報告」「活動計画案」「予算案」及び
 「役員の一部変更案」を議案書通り全員の拍手にて採択

4 議長解任、議事終了

5 来賓紹介 横浜市建築局長 坂和 伸賢
 (一社)横浜市建築士事務所協会 副理事長 内山 勝麗
 (一社)神奈川県建築士会相談役 藤田 武

6 来賓挨拶 横浜市建築局長 坂和 伸賢

◇ 閉 会 ◇

14 時 46 分

第2部

会場 横浜情報文化センター 6階情文ホール

講演会：早稲田大学准教授 保坂 猛 司会 下村 旭

テーマ『Ku u so u 建築と空想』 出席者 83名

第3部 懇親会

会場 スカンディア

司会 高橋 伸廣

挨拶 山成 芳直
 乾杯 星賛助会代表
 中締め 落合 博

参加者 57名

書記 落合 博



保坂氏と共に親睦会



新入会員も一緒です

『Ku u so u 建築と空想』 総会記念講演会

技術情報委員会 内藤 能里子



5月16日(土)情報文化ホールで、JIA 新人賞や東京建築士会住宅建築賞などを受賞されている保坂猛氏をお迎えして講演会が行われました。

自身の学歴や展覧会、建築作品を『ふさわしくないものがふさわしい』という少し変わったキーワードで語っていただきました。

保坂氏は、パイロットを目指したけれど、視力が弱くパイロットに向かないことが分かり建築家へ転向したそうです。全く違う方向に進んだ事(ふさわしくない)と思っていたものが、今は自分の天職(ふさわしいもの)として取らえて、建築を楽しんでいる様子が感じられました。



チェコの展覧会では、設計の際に書いたスケッチ1500枚を吊るし来館者がスケッチを見て回り保坂氏の頭の中(空想)の世界に入っていく企画を行いました。スケッチは人に見せるために書かれたものではないけれど、ひとつの作品として生まれ変わりました。

建築作品、「LOVE HOUSE」や「屋内と屋外の家」、「屏風浦の家」などもとても個性的で遊び心が溢れていました。

自然の光は、昼＝太陽、太陽の光を生かすように考えられた家は沢山ありますが、「LOVE HOUSE」は夜＝月、月の光を楽しむ自邸として設計されています。

月の動きを計算し、壁で切り取った夜空から降り注ぐ神秘的な月の光は、静かで贅沢な時間が流れているようでした。

「屏風浦の家」は、暗い地下室を明るい空間に変える工夫がされています。床面と窓の取付け位置を階毎にずらし、床をカーブさせて、1階レベルの窓が地下室に繋がり、2階レベルの窓が1階の窓、2.5階レベルの窓が2階の窓になっています。床は壁の機能も持っているのも、一見するとギャラリーのように、お洒落な面白い住宅でした。

視点を変え、『ふさわしくないものが、ふさわしいもの』に変わり、その瞬間人に驚きを与え、心に残るワンシーンが、生まれるのだと思いました。

貴重な時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。



大成建設 技術センター 見学会 開催報告

企画・運営：横浜支部 技術・情報委員会 樺澤 正夫

平成27年2月12日木曜日 午後 横浜支部会員13名が参加しました。見学先は横浜市戸塚区名瀬町にあり、JR東戸塚駅集合・解散とし、特別仕立のバスの送迎でした。

顧客、大学、行政、自治体、協会などの方が視察に訪れているとのことでありました。

双方の挨拶交換の後、DVDによる概要説明とVRによるボスポラス海峡海底トンネル工事の紹介があり、その後、各研究施設の見学を行い、質疑を含め2時間の予定が大幅に超過しました。

10MN構造物試験機、三軸振動台、その他の研究施設を一巡しましたが、水理実験棟の津波造波装置や環境・音響実験施設は非公開実験中のため見学できなかったのが残念でした。

それらを十分に上回る収穫は、『ZEB実証棟』の見学でした。見学者の真剣な観察と質問の多発で1時間以上を費やし、真摯に強い関心をもって参加されている人が多いことが分かりました。

『ZEB実証棟』とは、ゼロ・エネルギー・ビルとして、実務を行い使用しながら計測・実証データを取り、その性能の検証を行うことを目的とする建物であります。

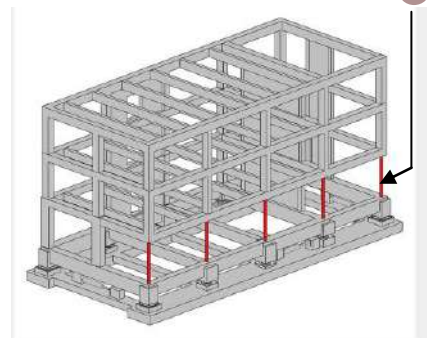
そのコンセプトは（以下、大成建設 技術センターの資料より使用させていただきました）

1. いきいきオフィス：業務に集中できるスマートで快適なオフィス環境の創出
2. ゼロエネルギー：省エネと創エネにより年間エネルギー収支ゼロを実現
3. ひとつ上の安心：高い安全性と事業継続性を確保するBCPへの対応を実施

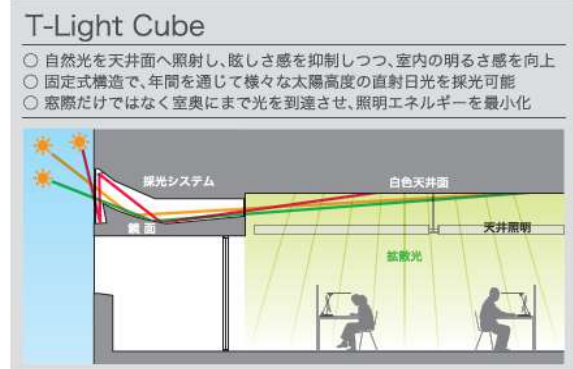
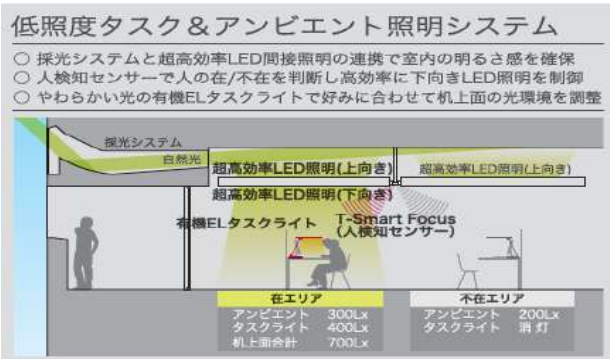


※NEDO 助成事業に採択された
三菱化学(株)との共同開発

Tas-Fine適用箇所 (●)



普通コンクリート使用 600mm 角柱を
⇒ F c 300N/mm² 採用により
Φ200mm 円柱を可能にしている



研究開発技術全般と『ZEB実証棟』については、大成建設のホームページ <http://www.taisei.co.jp> をご参照の上、十分にご理解を得られることを期待いたします。

なお、質問あるいは問い合わせは、横浜支部 技術・情報委員会までご連絡ください。



“サロン” 横浜から**心の響きと美しいハーモニー**を愛でる “

❁ 横浜グリークラブコンサート ❁

技術情報委員会 田中 克樹

平成27年1月 24 日(土)18時から19時30分

コンサート開演にあたり、技術情報委員会を代表し 当コンサートが“市民に開かれた建築士会”をアピールする活動の一つであることを述べさせていただきました。

横浜にゆかりのある団体として、当サロンで皆様にご紹介したいと思っていました横浜グリークラブ



(YGC)の指揮者である松崎先生とは私が小学生のころの恩師でもあり、当時から新鮮な風を運んでくる先生でした。このたびは当サロンの主旨を理解して頂き、快くお引き受けいただけました。しかも YGC は建築士会のような専門性の高い団体からの公演依頼は初めてということで、会長はじめ団員皆様から高い関心を示していただき 50 名を超えるメンバーに集まっていただきました。

第 1 ステージは団歌の「横浜に朝が来る」から始まり、やなせたかし作詞・木下牧子作曲の「愛する歌より」など、更に第 2 ステージでは十八番でもある筑波山麓合唱団や箱根八里に加え、信時潔作曲の「沙羅」を合唱していただきました。プログラムの終えた最後には 76 名のお客様と共に文部省唱歌「ふるさと」及びベートーヴェンの第九から「喜びの歌」を松崎先生ご指導のもと、ドイツ語と日本語で全員声高らかに歌いました。終演後、山成横浜支部長から団員へのお礼のご挨拶により、初春の楽しいひと時が締めくくられました。



テニス同好会便り



定例会報告 場所：金沢産業振興センターテニスコート

9月13日(土) 参加者11名
週末としては久しぶりのテニス日和の天候となりました。新メンバーさんも3名の参加があり活気ある定例会となりました。後半はコート2面を使ってのゲームもとても盛り上がりしました。



9月27日(土) 参加者11名
テニスにはちょうど良い気候となり、多くの参加がありました。急遽、コート1面から2面に増やしての練習会となりました。



10月11日(土) 参加者10名
3連休初日で、台風が接近していましたが、天候はまずまずでした。4時間の定例会は、久しぶりに参加の会員さんもいてとても盛り上がりしました。



10月18日(土) 参加者5名
今回の定例会は通常の日程と違ったためなのか少なく、2面のコートはやり放題でした。十分にゲーム練習ができて、皆さんヘトヘトの様子でした。



11月8日(土) 参加者8名
今回の定例会は雨の予報で出来るか心配していましたが、予報が一変してとても穏やかな天候となりました。人数的にもちょうどいい感じで練習ができました。



11月22日(土) 参加者10名
11月末とは思えないとても暖かくテニス日和となり、1面で4時間の定例会でしたが、後半は2面にしてゲーム中心の練習を行い、とても盛り上がりしました。



12月13日(土) 参加者10名
師走になり、とても忙しい時での定例会でしたが、皆さん参加してくれました。風がとても強いコンディションで寒さが厳しかったのですが、ゲームはとても盛り上がりしました。終了後は、忘年会へとくり出しました。



12月27日(土) 参加者8名
年末の忙しい時でしたが、集まりました。2面4時間の定例会でしたので、少しハードな感じでしたが、皆さん打ち納めなので、とても盛り上がりしました。



平成27年1月10日(土) 参加者11名
新年を迎えて最初の定例会です。前半はコート1面でしたので休み時間がありましたが後半は2面をフルに使ってのゲームを行いました。たくさんの参加者があり、とても盛り上がった初打ちとなり、良い同好会スタートができました。



1月24日(土) 参加者10名
曇り空でしたが、風もなくテニスにはちょうどよい天候でした。全豪オープンで錦織圭が頑張っていることもあり、皆さんのプレーにも熱が入っている様子でした。



2月14日(土) 参加者10名
最近コート2面での練習が多く、たくさんの参加がありました。気候はまだ肌寒い感じですが、ほとんど休みなしのゲームはとても盛り上がり、良い汗をかきました。



2月28日(土) 参加者8名
2月最終日、すがすがしい青空の下、テニスを楽しむことができました。



3月14日(土) 参加者10名
季節もだいぶ春めいてきてテニス日和となってきました。後半はコート2面でしたのでほとんど休憩なしで、たっぷりとゲームが楽しめました。



3月28日(土) 参加者7名
桜も7分咲とほぼ満開に近くとても綺麗で、初夏を思わせるような暖かいテニス日和となりました。4時間のテニスはとても気持ち良かったです。



4月11日(土) 参加者6名
桜は満開の時期を大分過ぎては
いましたが、まだまだ綺麗に咲いて
いました。今回は少人数でしたので、
たっぷりゲームができて盛り上
りました。



4月25日(土) 参加者7名
今週はコート2面を確保してい
ましたが、参加者が少なく1面
でゲーム、もう1面は練習を行
いました。



5月23日(土) 参加者8名
とても爽やかな気候でテニス日和と
なりました。久しぶりの会員の参加
がありました。合宿の成果もあった
様子で、ゲームでは良いプレーもた
くさんありとても盛り上がりました。



6月13日(土) 参加者9名
梅雨入りもして、とても蒸し
暑い天候の中、4時間2面の
定例会はとてもハードでし
た。スクールに通っている
という新人会員さんの参加も
ありました。2面を使用して
のゲームはとても盛り上がり
ました。



6月27日(土) 参加者10名
週末は雨の予報でしたが、一転し
てテニス日和となりました。2面4
時間の定例会は、今回も新人さんの
参加がありました。少し蒸し暑い天
候で、後半は皆さんバテ気味でし
たがゲームはとても盛り上がり
ました。



テニス総会報告



5月16日(土)
関内中華店にて参加者7名
「楽しく、皆で協力、レベルを
上げる」
目標と役割分担について確認。
活動計画:月2回の定期練習会、
年1度の合宿、対外試合

春季合宿

5月9日(土)、10日(日) 場所: ニューウェルサンピア沼津 参加者13名(日帰り含)



泉 大門

昨年は仕事で参加出来ず、今年初参加のテニス合宿です。

この合宿に向けて数日前から体調を整え楽しみにしていましたが、当日の天気予報はあいにくの雨模様。行きの車中では心配で何度も天気予報と空を眺めながら向かいましたが、日ごろの行いが良いせいかな…何とか開始時間には雨も上がり天候回復! 広大な敷地に1面のテニスコートとプールや体育館まで兼ね備える充実した施設に胸を躍らせ、大自然の中で潮風を感じ、リゾート気分を満喫しながらのテニスとなりました。皆さんもいつも以上に張り切っていて、白熱した好ゲームが続きました。また、普段定例会ではなかなかお会い出来ない方の参加もあり、合宿ならではの新鮮さも感じます。試合の合間の休憩でも皆さんの超一流のテニス談義に花が咲き、大いに盛り上がりました。それにしても、リゾート地で2日間仕事を忘れてテニスをするとは何と気持ちのいいことでしょう。心が洗われるようです。ランチは駿河湾の海と伊豆半島が見渡せるレストランでいただき、夜の宴会や部屋での2次会も大いに盛り上がり、いつも以上に飲みすぎてしまいました。

2日目は快晴。前日の宴会時に会長から提案のあったシングルのトーナメントも急遽開催され、大盛り上がりの試合展開となりました。テニスに食事に温泉に、最高の環境で大満足のテニス合宿となりました。皆様本当にお疲れ様でした。また、企画・運営をして下さった幹事様、ありがとうございました。



同好会会員募集中!

テニスに関心のある方どなたでも参加可能です。特に女性大歓迎! お気軽に連絡下さい。
定例会は原則第2・4土曜日を予定していますが、予約状況により異なりますのでお問い合わせください。ご連絡の際はメールの場合でもお名前、連絡先の記入をお願いします。

連絡先: 玉野 045-894-8452 FAX893-6614 n.tamano@architect-tamano.jp

《 絵画同好会だより 》

厚生委員会 高橋 伸廣

5月24日(日)。今回のスケッチ会は渋谷区松濤にある白井晟一氏設計の「松濤美術館」の展覧会で美術鑑賞をし、隣接する松濤公園でのスケッチ、午後より代官山にある大正ロマンの香る「旧朝倉家住宅」を見学、美しい庭園でのスケッチ会を催しました。新入会員も増え、参加者5名にて前日の雨予報は外れ、上天気の中、初夏の新緑を満喫した一日でした。



「松濤美術館」



「旧朝倉家住宅」前で



菊地会員
の作品



藤井会員の作品



芹澤会員
の作品



高橋会員の作品



小倉会員
の作品



横浜市建築局からのお知らせ 職員が被災地で復興支援を行っています！

もりやま ひろし

森山 浩

(平成26年度から宮城県山元町派遣)

○被災地で行っている事業を教えてください。

3箇所の新市街地整備事業を行っており、その中に災害公営住宅をはじめ集会所、小学校、子育て拠点施設等の設計・建設を行っています。

○被災地でどのような苦労がありましたか？

災害復興の目的のもと、職員が一致協力して仕事をしていますが、現場の障害で工期が遅れると、仮設住宅で待っている町民の皆さんに迷惑をかけてしまうことです。

○嬉しかったことを教えてください！

新築の災害公営住宅の内覧会に来られた方や、入居された町民の方に喜んでもらえたことですが、補助金の整理も含め全て終わるまで気を抜けません。

○休日の過ごし方や山元町のPRを教えてください！

休日は宮城県内の山登りやジョギングを通じ地域を見て、東北を楽しんで気分転換しています。

また、宮城県内では最も温暖で空気が綺麗で空が広く、夜空の美しさは別格です。いちご、りんご、ホッキ貝が特産品で、ホッキ飯やハラコ飯も美味しいですよ。



はっとり あつし

服部 敦

(平成26年度から宮城県山元町派遣)

○被災地で行っている事業を教えてください。

建築営繕室という部署で、災害公営住宅や町施設の設計チェック、施工管理など建築的な部分でのお手伝いをしており、自分は建築班のまとめ役として働いています。

○被災地でどのような苦労がありましたか？

スケジュール管理が難しいですね。国や県、JV、コンサル、ハウスメーカーと関係機関が多く、1か所が止まると予定がどんどんずれていきます。また、現在100戸以上の住宅を建築中ですが、常にペース管理には目を光らせています。

○嬉しかったことを教えてください！

住宅の入居時期に合わせて順次内覧会を行っています。内覧会に来られた方の顔には笑顔が浮かび、中には目を潤ませる方もおり、良かったなと思います。

○休日の過ごし方や山元町のPRを教えてください！

住んでいる場所は東北各地へのアクセスが良く、休みのたびに山や温泉を回っています。車の走行距離が1年で3万キロ超えました。

また、常磐道もつながり、横浜から4時間もあれば来ることができ、町が一から立ち上がっていく様子を目の当たりにできます。イチゴ、りんご、ホッキ貝、鮭はらこ飯と旬の幸も味わえます。是非お越しください。



てらお よしあき

寺尾 慈明

(平成27年度から宮城県石巻市派遣)

○被災地派遣に向けた意気込みを教えてください！

平成27年4月から、宮城県石巻市に派遣されることになりました。石巻市は、学生時代に被災地支援のボランティア活動で行った場所でもあり、これも何かの縁かと思っています。

復興支援には様々な形がありますが、自治体職員としての派遣を希望したのは、震災復興事業は生活、産業などの再建の土台となり、その一日も早い実行が大切であると考えているためです。復興のため建設需要が増大しているなか、確認検査等の業務を円滑に行うことで、震災から復興し、安全なまちを築く一助になるべく、頑張りたいと思います。



お知らせ 委員会だより

総務委員会

年間の最大行事とも云える総会(5月16日)が無事終えられ、担当委員会として安堵しています。反省すべき点はいつもながら、記念講演会への参加者(83名)が少なかったこと。講演内容が充実すると余計、それが感じられます。PR方法への課題は今年も残ったようです。今回、初めての懇親会場『スカンディア』は会場から離れたものの、評判は上々のように感じます。全体の決算案は予算内に収まり、次回(9月)の役員会に諮ります。恒例の美術館シリーズは10月1日(木)に上野の西洋美術館を予定しています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



長井 邦夫

技術・情報委員会

当委員会が主催する昨年度のサロンは、横浜グリークラブ(YGC)による男性合唱を平成27年正月横浜美術館、レクチャーホールにて開催し、総勢76名の参加者が集い、無事終了することができました。また、その他、講習会、見学会を開催しています。支部総会にて活動報告させていただきましたので割愛しますが、この紙面をお借りし御礼申し上げます。今年度の活動は、現在当委員会にて企画案を立案し、夫々の確定を詰めているところです。

今年度の活動テーマ

- ・ランドスケープ関連(講演会)
- ・エスキス、スケッチ手法(研修会)
- ・サロンの開催(横浜で活躍中の個人、団体紹介)

ご関心ある方は、是非とも当委員会の今後の広報に、注視していただければ幸いです。テーマ内容によりませんが、今年度も、引き続き士会会員及び学生、会員外へと広く参加を呼びかけたいと考えております。

田中 克樹

広報委員会

広報委員会は、本年度も、皆様へ、横浜支部の活動報告、予定などの情報発信に努めて参ります。会員の皆様には、原稿、情報等の提供に、ご協力頂きます様よろしくお願い致します。また、支部だよりを、会員増強の資料のひとつとしてお使い下さい。

*編集は、落合委員長を中心に、玉野、丸山、加藤、雨森が行います。各ページ担当を決め、ワードと奮闘しながら、各紙面を作成しております。しかしながら、この5人だけではスタッフが足りません！**ワードが使える人を募集**いたします。皆様からのご意見、ご感想等をお待ちしております(編集後記 雨森)

広報委員

落合 博・玉野直美・丸山幸一・雨森隆子・加藤高明
高橋秀行・鈴木祥子・安東眞記子(順不同)

発行 一般社団法人神奈川県建築士会 横浜支部事務局

231-0011 神奈川県横浜市中区太田町2丁目22

神奈川県建設会館新館5F

TEL:045-201-1284 FAX:045-201-0784

<http://www.kanagawa-kentikusikai.com/sibu/yokohama/>

